



地域に絆を 子供に笑顔を

日本の未来を担う子供たちのために活動しています



B&G財団の描く未来を、 あなたと

Our Vision

「青少年の健全育成推進計画」をスタート

B&G財団は設立以来、「青少年の健全育成」を基本理念として、全国のB&Gネットワークを活用した様々な事業を行ってまいりました。そして創設43年目を迎えた2015年、時代の変化に対応し、新たな事業創造を行うため、「青少年の健全育成推進計画」を立案・開始しました。※B&G財団の実績・概要は、5～6ページをご覧ください。

Vision 01

生きる力 を育む

子供たちの心身を鍛え、
これからの時代を
生き抜く力の育成



Vision 02

体験格差 を解消する

子供の成長に必要な自然体験
を、誰もが行える機会の
提供・環境整備



Vision 03

地域の つながり を活性化する

子供の成長を皆で支えられる
地域コミュニティの
再生・創生



Vision 04

海に親しみ、 海を知る

日本の生活・発展に不可欠な
海への理解を促進

全国に広がるB&Gのネットワーク

B&G海洋センター

全国 **471** カ所

B&G海洋クラブ

全国 **281** カ所

B&G指導員

現在 **19,044** 人

地域指導者会

全国 **452** カ所

B&G財団の目標と行動

Our Mission

社会のニーズに沿った、新たな8つのミッションを策定

「青少年健全育成推進計画」で描いた4つのビジョンに基づき、その実現に向けた8つのミッションを定め、B&G財団は動き出しています。

Mission 01

「自然」と「命」を実感する

青少年に対する自然体験・宿泊学習・安全教育等の提供

海洋性レクリエーションや海洋産業の体験学習を含む宿泊プログラム、海の環境を守る森の育成などを学ぶ環境教育事業を提供します。



■海を守る植樹教育事業



■東京湾海洋体験アカデミー

Mission 02

「可能性」と「機会」を全ての人に

「困難な状況にある子供たち」の体験格差の解消など

障害者やひとり親家庭をはじめ、子供からお年寄りまで、健常者も障害者も、皆が参加できる水辺の自然体験活動などを提供します。



■障害者を対象としたヨット・カヌーなどの体験会



■誰もが参加できる
レクリエーション大会
「B&Gチャレンジ」



■障害者と健常者のヨット大会

- ひとり親家庭を対象とした自然体験活動の提供
- 特別支援学校・児童養護施設等への自然体験活動の提供

Mission

03

挑戦する気持ちを応援したい

オリンピックやパラリンピックを目指す
「B&G海洋クラブ員」等への支援

私たちがB&G海洋クラブ出身です!!



リオ五輪セーリング競技代表

高野 芹奈 選手

(B&G兵庫ジュニアヨット海洋クラブ出身)



セーリング470級ジュニア世界選手権優勝

岡田 奎樹 選手

(B&G別府海洋クラブ、B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ出身)



世界を目指す
B&Gクラブ員への支援

スペシャルインタビュー

「夢をつなげ！
B & G アスリート」



Mission

04

海洋国「日本」を知る

海に親しみ、学ぶ機会の提供と環境の整備

海洋に関する国民の理解と関心を深めるとともに、海や水辺に親しむための「水辺の安全教室」の普及を進めます。



世界記録登録を目指す、全国一斉の
「1分間ペットボトル浮き」



学校と連携した「水辺の安全教室」と
教員対象研修会

Mission

05

これまでも、これからも、地域に寄り添う

事業推進拠点 (B&G海洋センター・クラブ) の施設整備と連携強化

海洋センター施設の機能保全・バリアフリー化などを目的とする修繕への支援や、海洋センター・クラブに対する舟艇器材の配備を実施。また、各種会議を通じて、自治体執行部や施設担当者からの要望に応じていきます。



海洋センター修繕助成



B&G全国サミット (全国首長会議)



避難所開設訓練

■海洋センター・クラブの施設整備
・修繕助成
・舟艇器材配備

■海洋センター・クラブ活性化事業の推進
・避難所開設訓練
・地域情報の共有と発信「まちレポ」

■全国会議の開催
・B&G全国サミット
・B&G全国教育長会議

Mission
06

「スポーツ施設」が「交流の場」に変わる

B&G海洋センターの有効活用と、地域コミュニティの活性化

海洋センター施設を、スポーツ目的の利用だけでなく、「地域コミュニティの拠点」として幅広く活用いただけるように、施設改修やイベント開催を支援します。



■ 幼児用遊具で運動の場所づくり



■ 新たなキッズスペース



■ ロビーが憩いの場に



■ 待合室の一角に授乳室を設置



■ 高齢者の運動教室



■ プールに温泉浴槽を設置



■ 健康づくりを通じた住民交流

- 海洋センターを活用した地域コミュニティの再生に関するモデル事業（北海道横丹町・熊本県湯前町）
- 既存海洋センターへのコミュニティ機能付加改修支援

Mission
07

地域を担う「人」づくり

「海洋性レクリエーション指導員」の養成と資質向上

海洋センター・クラブで、施設運営や自然体験活動、地域コミュニティ活性化などの事業を担う指導員を養成。

また、水辺の安全教室を指導できる学生などの人材も育成します。

- 「B&G海洋性レクリエーション指導員」センター・インストラクター養成研修
- 指導員研修会
- 地域指導者会の活動促進
- 大学等と連携した人材育成



■ センター・インストラクター養成研修



■ 大正大学「フィールドワーク実習」の受託

Mission
08

活動への理解を深め、支援の輪を広げる

広報活動による各種情報の収集と発信

B&G財団、海洋センター・クラブ、指導員の活動の周知により、認知度の向上と、より多くの理解者の獲得を目指します。

- B&G財団と、B&G海洋センター・クラブの広報促進

- わが町の海洋センター・クラブ自慢コンテスト「PR大賞」受賞作



「B&G海洋センター」 の建設・無償譲渡

1976
▼
2004

スポーツ、健康づくり、文化活動など、地域住民のための総合施設として

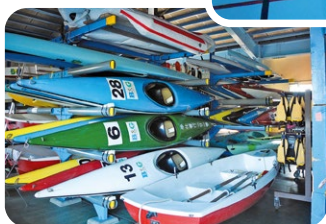
全国 **480** カ所に設置
建設費総額 **1,400** 億円



体育館



プール



艇庫

ボートレースの収益金 総額 1,400 億円の支援を財源に、全国のべ2,202自治体の応募（建設時当初、全国自治体数の約7割）の中から、審査に合格した 480 自治体に「B&G 海洋センター」を建設。その後、自治体に無償譲渡されました。

（自治体合併等により現在は 471 カ所、390 自治体）

全国で、年間のべ約 **1,044** 万人が
B&G 海洋センターを利用（2016 年度）

体育館 約 558 万人	プール 約 406 万人	艇庫 約 29 万人
------------------------	------------------------	----------------------

※その他、約 51 万人

since **1973** >>>

「B&G海洋クラブ」 の登録・支援

1977
▼
現在

海洋性スポーツを楽しみ、地域に広めるグループを支援

全国 **360** カ所に結成
会員数 約 **12,000** 人

「B&Gプラン」に賛同し、地域での海洋性スポーツ普及、水辺の安全啓発に取り組むグループを「B&G 海洋クラブ」として登録。舟艇やライフジャケット等の安全装備を支援しています。



全国で、年間のべ約 **24** 万人が
B&G 海洋クラブの活動に参加（2016 年度）

「B&G指導員」の養成

1975
▼
現在

確かな指導力で、地域の安全・安心な施設運営を担う

40 年にわたって

約 **19,000** 人の指導員を
養成し、青少年の
健全育成と地域
住民の健康づくりに貢献



自治体・施設の担当者に向け、長期の合宿研修（約1ヵ月間）を行い、B&G財団独自の指導員資格を付与しています。



日本最大級の海洋性レクリエーション指導員組織「B&G全国指導者会」を結成し、子供達に「自然体験活動」「水辺の安全教育」を積極的に普及しています。



公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団

1973

年設立

モーターボート競走法制定20周年を記念した「謝恩事業」として、1973年3月28日、B&G財団が設立されました。

創設者である笹川良一会長は、「未来を築く青少年は、心身ともに健康で、礼と節をわきまえ、人のために尽くす人間になってもらいたい」と説き、その思いが、「B&Gプラン」として具現化しました。



B&Gプランとは

活動の場は、日本の**青い海**と**緑の大地**
(ブルーシー) (グリーンランド)

《 目的 》

- ▶ 知育・体育・徳育の調和のとれた青少年の育成
- ▶ 地域住民の健康づくり

当時の市民スポーツ先進国、旧西ドイツの「ゴールデンプラン（スポーツ施設の整備・拡充計画）」を土台としたハード事業（「施設整備」）に、ソフト事業（「指導者養成」「活動組織づくり」「海洋性スポーツ・レクリエーションの提供」）を加えた「総合的スポーツ振興計画」として、B&Gプランを策定しました。

全国に広がる活動拠点

スポーツ・健康づくりの拠点として整備された「B&G海洋センター」。
海洋スポーツを楽しみ、水辺の安全教育を広めるグループ「B&G海洋クラブ」。

拠点数 ▶ 海洋センター **471**カ所 ・ 海洋クラブ **281**カ所 （2017年4月1日現在）

都道府県	海洋センター	海洋クラブ	都道府県	海洋センター	海洋クラブ	都道府県	海洋センター	海洋クラブ	都道府県	海洋センター	海洋クラブ	都道府県	海洋センター	海洋クラブ
北海道	36	20	埼玉	9	4	岐阜	12	4	鳥取	7	1	佐賀	5	5
青森	12	6	千葉	12	4	静岡	14	8	島根	8	8	長崎	8	7
岩手	16	3	東京	0	2	愛知	5	4	岡山	20	14	大分	19	14
宮城	14	6	神奈川	0	4	三重	13	7	広島	14	7	熊本	13	9
秋田	16	8	新潟	17	8	滋賀	11	4	山口	5	4	宮崎	2	3
山形	2	4	富山	7	3	京都	6	2	徳島	8	3	鹿児島	18	14
福島	7	3	石川	4	7	大阪	3	1	香川	8	9	沖縄	6	4
茨城	10	6	福井	12	4	兵庫	19	11	愛媛	8	8			
栃木	6	1	山梨	10	2	奈良	2	1	高知	4	1			
群馬	4	2	長野	19	3	和歌山	4	1	福岡	16	9			

その他 ボートレース場 16カ所
海外 2カ所

強い力で、輝く未来を築きたい

「B&Gネットワークによる相互応援」の絆



東日本大震災により被災した東北・関東の自治体への復興支援活動から、**B&Gネットワーク**のさらなる結束がはじまりました。

2016年の熊本地震ではこれまで培ってきた**相互応援による支援活動**が迅速に機能。

被災地の要望に応じて全国のB&G関係者から支援物資を提供いただき、熊本・鹿児島県のB&G指導員の手によって被災自治体へと届けられました。

そして2017年夏休み、B&G財団へ託していただいた支援募金により、熊本市・宇城市・南阿蘇村の小中学生とその保護者を対象に、帆船やマリンスポーツなど**海洋体験を通じた復興支援事業**を実施します。



2016年1月「第8回B&G全国サミット」で「災害時における相互応援」が共同宣言に初めて盛り込まれる



B&G指導員による南阿蘇村への復興支援ボランティアを4回実施



リズム運動教室を行い、子供たちに笑顔を届けました

「なくそう！体験格差！！」

子供たちの体験格差を解消する活動へのご支援をお願いします

社会的格差の問題に注目が集まる昨今、困難な状況に置かれた子供たちに、様々な支援が行われています。一方で、豊かな人間性を育むには、依然として支援の手が届きにくく、「体験格差」の存在が指摘されています。B&G財団では、児童養護施設やひとり親家庭の子供たちにも、より多くの体験の機会を提供するため、体験格差の解消に向けた取り組みを行っています。皆さまのご支援をよろしくお願いします。



B&G公式ホームページ「B&G財団を応援する」をぜひご覧ください！

B & G  公式ホームページ <http://www.bgf.or.jp>



公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団

〒105-8480 東京都港区虎ノ門3-4-10 虎ノ門35森ビル9階 TEL: 03-6402-5310 FAX: 03-6402-5315

Mail: info@bgf.or.jp 公式ホームページ <http://www.bgf.or.jp>